

# 避難について知っておこう

## 避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、早めの避難を心がけましょう。

 <p><b>状況により、すばやく避難しましょう</b> 避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。</p>	 <p><b>浸水時、自動車での避難は危険</b> 普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。</p>
 <p><b>浸水時に長靴は厳禁</b> 避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。</p>	 <p><b>家族には連絡メモを残そう</b> 外出中の家族には、「どこへ避難する」といったようなメモを残しておくといいでしょう。</p>
 <p><b>避難時はブレーカーを切りましょう</b> 避難の際は、浸水による漏電や、電気火災の予防のためブレーカーを切ってから避難しましょう。</p>	 <p><b>集団で助け合おう</b> 単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。</p>
 <p><b>持ち出し品は最小限に</b> 非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。</p>	 <p><b>安全なルートで避難</b> 避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。</p>

※避難施設に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

## 水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告が発令されていても、がけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、近くの頑丈な建物の2階以上や自宅の2階といった高い場所へ移動(垂直避難)して救助を待つという判断も必要です。

 <p><b>危険な避難</b></p>	 <p><b>避難場所への早めの避難(水平避難)</b></p>	 <p><b>高所への避難(垂直避難)</b></p>
--	---	---

## 何よりも命を守る行動を！ 豪雨時(異常時)の屋内避難

お年寄りや障がいのある方など避難に時間を要する人は、移動時間を考えて早めに避難することが重要です。しかし、どうしても避難場所等への移動が困難な場合は、次善の策として、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難しましょう。それも難しい場合は、家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難してください。



避難場所等への移動がどうしても困難な場合は…

- 家の2階以上へ(がけと反対側)
- それも困難なら
- がけから離れた部屋へ

## 避難所・避難場所一覧

避難先については、自然災害等(水害・土砂災害・地震・火山)の状況に応じて、猪苗代町が指定しお知らせします。

No.	名称	避難所	避難場所	福祉避難所	No.	名称	避難所	避難場所	福祉避難所
1	猪苗代小学校	○	○		18	月輪地区コミュニティセンター	○	○	
2	猪苗代町体験交流館	○	○		19	東中学校	○	○	
3	猪苗代町水防センター	○	○		20	長瀬小学校校庭		○	
4	猪苗代町運動公園		○		21	川桁体育館	○	○	
5	亀ヶ城公園		○		22	川桁防災センター	○	○	
6	猪苗代町総合体育館	○	○		23	さくらこども園	○	○	
7	猪苗代町農村環境改善センター	○	○		24	吾妻中学校校庭		○	
8	翁島小学校校庭		○		25	吾妻小学校	○	○	
9	翁島地区コミュニティセンター	○	○		26	樋ノ口多目的集会所	○	○	
10	千里小学校	○	○		27	中ノ沢体育館	○	○	
11	猪苗代中学校校庭		○		28	猪苗代町老人福祉センター	○	○	○
12	千里地区コミュニティセンター	○	○		29	中ノ沢運動場		○	
13	千里公園		○		30	中の沢保育所	○	○	
14	扇田公園		○		31	磐梯青少年交流の家	○	○	
15	中央緑地		○		32	県立猪苗代高校	○	○	
16	緑小学校	○	○		33	川上集会所		○	
17	旧山湯小学校	○	○		34	猪苗代町地域福祉交流センター	○	○	○

\*避難が必要になったときにはまず「避難場所」へ、その後は「避難所」へと状況に応じて速やかに行動できるように心がけましょう。

## 洪水・土砂災害ハザードマップについて

水害の種類と避難行動	
早期に立退き避難が必要な区域	<b>河岸侵食</b>  <p>河岸侵食で家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。</p>
	<b>氾濫流</b>  <p>堤防決壊等に伴う氾濫流で木造家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。</p>
その他の浸水想定区域	 <p>2階以上が浸水するおそれがあることから、早期の立退き避難が必要。</p>
	 <p>床上・床下浸水が想定されることから、立退き避難が望ましい状況を踏まえ、自らの判断により屋内安全確保でも良い。</p>
浸水想定区域外	<p>浸水のおそれはないが、浸水想定区域内の住民等が避難してくるため、避難の手助けを行う。</p>

- 7ページ以降に示した地図には、大雨によって阿賀野川水系長瀬川が氾濫した場合に想定される浸水区域と、土砂災害のおそれのある区域、避難施設などの防災情報を示しています。
- 浸水想定区域は、想定し得る最大規模の降雨により長瀬川が氾濫した場合に想定される浸水の深さや、氾濫流や河岸侵食により家屋が倒壊するおそれのある区域をシミュレーションにより求めています。なお、支川の決壊による氾濫やシミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等は考慮していません。(→浸水想定区域図の前提条件は8ページをご確認ください)
- 土砂災害の恐れのある区域については、福島県が指定した土砂災害警戒区域・特別警戒区域と県による指定のための調査が完了し、今後、土砂災害警戒区域・特別警戒区域として指定の準備を進めている区域(※)を表示しています(町内の区域のみ表示)。  
※区域の形状は、指定時に変更になることがあります。
- 地図で示した浸水想定区域や土砂災害の恐れのある区域以外でも、浸水や土砂災害が発生する場合がありますので、注意してください。